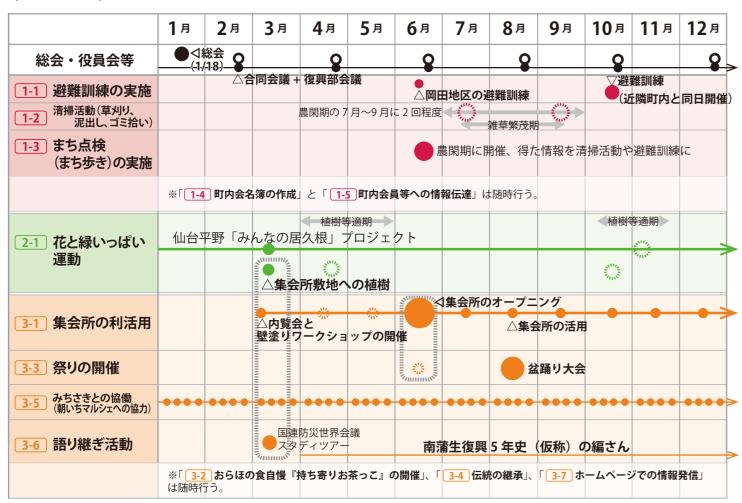
平成27年 活動スケジュール



震災以降の主な取り組み

▶集会所の建設に向けた計画づくり

兵庫県の基金により、津波で流失した集会所を再建できることが決まり、 町内会では「建設委員会」を設置し、周辺地域の集会所の見学やワークショップによる検討などを重ねて「ふだんづかいの集会所」という目標のもと設計・建設されました。

▶その他の活動

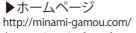






視察の受入 (国連防災世界会議 のスタディツアー)

南蒲生町内会



▶ Facebookページ https://www.facebook.com/minamigamou

南蒲生地区まちづくりアクションプラン 平成27年3月発行

コンサルタント:特定非営利活動法人都市デザインワークス

南蒲生地区 まちづくりアクションプラン

南蒲生地区は東日本大震災の津波により甚大な被害を受け、その2年後の平成25年3月には復興まちづくりの指針をまとめた「南蒲生復興まちづくり基本計画」(下段参照)を策定しました。

それから更に2年が経過し、現地での再建が進み、さらに、地域コミュニティの核となる集会所も建設しました。一方で、堤防などの減災対策に関する施設の完成も見えつつあり、地区の状況も刻々と変化しています。

このような状況をふまえると、震災から4年経過した現在は"これから"(概ね5年間) のまちづくりを考えるための大切な時期といえます。

まち歩きやワークショップを重ね、地域が主体となって取り組むべきまちづくりの実践計画を「アクションプラン」としてまとめましたので、是非ご覧の上、町内外からのまちづくりへの参加をお待ちしております。

平成27年3月 南蒲生町内会

■南蒲生復興まちづくり基本計画(平成24年度策定)

まちづくりの目標

杜の都の田園文化を受け継ぐ「新しい田舎」

1.安全・安心な暮らしができる環境づくり

行政に対して、各種堤防や津波避難道路などの早期整備を要望するとともに、まちづくりと連動した津波避難施設の具体的な性能や内容等について地域防災計画や津波避難施設整備計画などに反映し、協働で実現できるよう提案・協議を続ける。また、住民同士の「顔の見える関係」づくりを積極的に進め、日常から自助・共助の意識を高め、誰もが安全・安心に暮らすことができる地域づくりに取り組む。

2.次代につなぐ居久根のある景観づくり

仙台平野の原風景である「居久根」を、個人が所有・管理する屋敷林から、杜の都仙台の貴重な景観・環境資源として捉え直し、新しい価値観・仕組みにより多様な主体(行政、市民、NPO、企業)の参加を得ながら「みんなの居久根」として再生・継承する。あわせて、旧街道沿いを軸として南蒲生らしい景観の創出を目指す。

3. 南蒲生らしさを活かした産業・交流づくり

南蒲生にある多彩な資源(農地、海浜、七北田川、貞山堀、浄化センター等)を積極的に活用しながら、6次産業化を目指し、 行政や企業の支援を受けながら具体的に検討・実施する。また、それらを介した交流を促進し、さらに交流を通じて「新しい 田舎」を目指す南蒲生の魅力を発信することで、新たな居住者の獲得につなげていく。

南蒲生地区まちづくりアクションプラン

~まちづくりを「自分ごと」として 「みんなで」取り組むための実践計画~



: 既にやっている事 : すぐに取りかかる事

1.安全・安心な暮らしができる環境づくり

1-1 避難訓練の実施 颬 🗺!

住民の安全・安心の確保や防災意識の向上のため、近隣町内会と同日に避難訓練を実施する。 屋内で防災講習会なども行う。

1-2 清掃活動(草刈り、泥出し、ゴミ拾い) 既 すぐ!

地区内の住環境の向上のため、様々な団体と一緒に清掃活動や草刈りを行う。定例化することを目標にする。

1-3 まち点検 (まち歩き) の実施 既 すぐ!

地区の再建状況や環境等を常に把握し、日常の安全・安心や環境の向上に役立てるために、マップ等を手にまち点検(まち歩き)を定期的に行う。ここで点検することは、1-1 避難訓練の実施や1-2 清掃活動、2-1 花と緑いっぱい運動にも活かす事ができる。



1-4 町内会名簿の作成 既 すぐ!

町内会名簿の定期更新作業と災害時要援護者の把握作業を行う。

1-5 町内会員等への情報伝達 🖽

まちづくりへの積極的な参加を増やすため、「町内会だより」等を作成し各班長を通じて町内会員へ配布する他、「3-7 ホームページでの情報発信も行う。





The same of the sa

◆アクションプランの 検討作業の様子

このアクションプランは、 南蒲生町内会の役員や復 興部のメンバーを中心に ワークショップ形式での話 し合いにより練り上げ、策 定しました。

2. 次代につなぐ居久根のある景観づくり

2-1 花と緑いっぱい運動 🖫 👓 🗆

花や緑のある景観を目指し、様々な団体と協力して花壇や生け垣づくりを行う。 1-2 清掃活動などと連動して取り組みたい。



3. 南蒲生らしさを活かした産業・交流づくり

3-1 集会所の利活用 すぐ!

各団体の会議や集まりの他、「ふだんづかいの集会所」を具現化するために、個人や少人数での気軽な利用ができるようなルールをつくる。



3-2 おらほの食自慢「持ち寄りお茶っこ」の開催 すぐ!

3-1 **集会所の利活用**の企画の一つとして、各家庭で採れた野菜を使った手料理を持ち寄って「お茶っこ」を行う。

3-3 祭りの開催 既 すぐ!

住民同士のコミュニケーションを深めるため、盆踊り大会や南蒲生マルシェなどを開催する。



③-4 伝統の継承 🖽

南蒲生太鼓や雀踊りなどを町内の伝統と位置付け、継承していく。

<u>3-5</u> みちさきとの協働(朝いちマルシェへの協力) 🐯

町内企業のみちさきが実施する朝いちマルシェ (毎週土曜日開催) に、町内の農家で採れる作物の出品や開催案内などで協力する。 みちさきで採れた食材を町内の行事等で活用する。

3-6 語り継ぎ活動 既 すぐ!

震災前の記憶、震災とそれ以降の記録を後世に語り継ぐため、「南蒲生復興5年史(仮称)」の作成を行う。また、3-1 集会所の利活用の一環として、それらの資料の展示を行う。

3-7 ホームページでの情報発信 🖽 👓 !

町内外からのまちづくりへの参加・協力を得るために、町内会のホームページを通じて町内の活動を発信する。